

Newフィット HYBRIDに、燃費を高める電動サーボブレーキシステムを採用。 新制御により、リニアで安心感の高いブレーキフィールを実現。

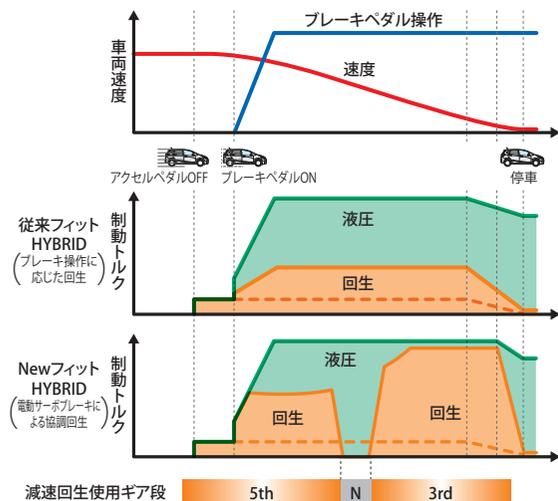


Newフィット HYBRIDに電動サーボブレーキシステムを採用。より多くの減速エネルギー回生を実現するとともに、世界初の可変サーボレシオ制御によって、ドライバーの感覚にリニアで、安心感の高いブレーキフィールを実現しました。

減速エネルギー回生量の向上

ハイブリッド車は、いかに多くの減速エネルギーを電力として回生できるかが課題の1つです。従来フィット HYBRIDではドライバーのブレーキ操作に応じてモーターの回生量を増やしていましたが、Newフィット HYBRIDでは、さらなる回生量の向上を目指し、電動サーボブレーキシステムを採用。回生協調制御を最適化し、減速回生中のシフトチェンジにも対応しました。これにより、従来フィット HYBRIDに対し回生量を60%以上向上させることに成功。加えて、なめらかで自然なブレーキフィールを達成しています。

■減速エネルギー回生量比較イメージ図



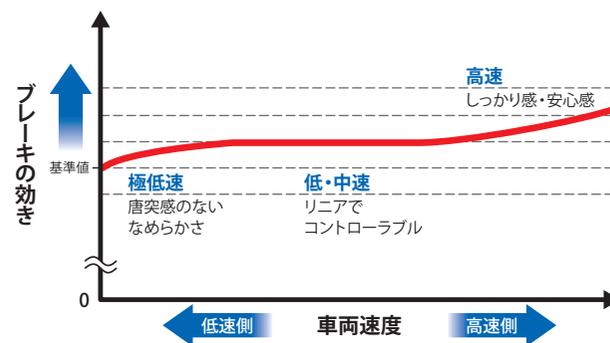
可変サーボレシオ制御

ブレーキ液圧をECUとモーターで制御する、電動サーボブレーキシステムの特性を活かし、ペダル踏力に対するブレーキ液圧を最適に制御。ドライバーの意思を忠実に反映しながら、上質で安心感の高いブレーキフィールを実現しました。可変サーボレシオの設定にあたっては、市街地から高速道路、サーキットまでさまざまな走行環境で検証を行うとともに、Newフィット HYBRIDのステアフィールやエンジン特性に合わせた最適チューニングを行い、あらゆる走行シーンで自然なブレーキフィールが得られるようにしました。

●車速応動制御

走行速度に応じて制動力を最適にコントロールする車速応動制御を新たに開発しました。駐車場などでの極低速域では唐突感のないなめらかな効きとし、市街地など低・中速域ではブレーキの効きをわずかに強めることでリニアでコントローラブルなフィールを実現。高速域ではさらに効きを強め安心感のあるブレーキフィールを提供します。

■車速応動制御イメージ図



●ビルドアップ特性制御

減速に応じて効きが強まるビルドアップ特性は、主に大型車やスポーツカーの大容量ブレーキパッドによってもたらされるもので、安心感の高いブレーキフィールとして認知されています。Newフィット HYBRIDでは、これと同様の特性をブレーキ液圧制御によって行い、ドライバーの踏み増し負担軽減や、下り坂ブレーキでの安心感向上などを実現しました。

■ビルドアップ特性制御イメージ図

